

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 つながり、支え合う仕組みをつくり、安心して暮らせる小平に

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

これまでの社会保障制度では、高齢や障がい、生活保護、児童福祉など属性別、対象者別のリスクで制度づくりがすすめられてきました。しかし、一つの世帯に複数の課題が存在している状態、例えば 8050 問題や介護と育児のダブルケア、ヤングケアラーなど生活課題は、複雑化、多様化しており、当事者やその家族は、どこに相談していいのかわからず、解決の糸口が見つからないまま、さらに孤立を深め、生活が成り立たなくなることもあります。これまでの支援の仕組みだけで十分な対応が取れないというケースで「生きづらさ」を抱える人の相談を断らずに受け止め支援につなぐため、社会福祉法の改正による新たな事業として重層的支援体制整備事業が 2021 年度に施行されました。

市は、2021 年から事業の準備を始め、今年度から包括的支援体制を構築する手段としての、この事業をすすめています。今まさに、地域での支え合いや複雑化、多様化する生活課題の解決に活かされるときと考えます。事業の 3 つの柱となる相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を地域課題の解決に向け、一体的に実施するためにどのようにすすめていくのか、以下質問します。

1. 重層的支援体制整備事業の 3 つの柱(相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援)について伺います。

① この事業における相談の窓口となる場所はどこですか。

② 相談支援を行うにあたり関係各課に向け、新たに行った取組があればお示しください。

③ 孤立する人を社会につなぐための参加支援として行っていることがあればお示しください。

④ 地域づくりに向けた支援として、どのようなことを行っていますか。

2. 関係機関と連携して横断的に支援方法の協議を行う重層的支援会議をどのように行っていますか。

3. 複雑化、多様化する問題に対応するために職員を対象に行っていることがあればお示しください。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

2024 年 11 月 18 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)